

平成27年度 第6回 直江津区地域協議会

次 第

日時：平成27年8月7日（金）

午後6時～

会場：レインボーセンター 第三会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【協議事項】

地域活動支援事業について（追加募集の採択審議）

4 その他

- ・中央保育園の移転について
- ・新水族博物館を活用した直江津のまちづくりを話し合う会について
- ・次回協議会について

____月 ____日（ ____ ）午後 ____ 時 ____ 分～ レインボーセンター

平成27年度 直江津区地域活動支援事業(追加募集)提案書 受付一覧 (担当課所見あり)

No.	事業の名称	団体等の名称	複数に 提案して いる場合	事業費等(単位:千円)		採択額	事業内容の概要	担当課所見		
				事業費	補助希望額			担当課	所見	特記事項
1	八幡宮公園の憩いの場・癒しの場づくり事業	八幡宮公園の自然を愛する会		861	860	860	高齢者から子ども達まで住民に街なかの自然を体感できる機会と場所を提供できるよう、八幡宮公園にホテルの棲める自然環境(ビオトープ)を整備し、小中学生を中心に自然環境の学習にも役立てる。	都市整備課	課題なし	・工事实施前に当課と協議するとともに、上越市都市公園条例に基づく公園施設設置許可申請を行うこと。 ・設置する施設の維持管理については、電気料金の負担も含め、申請者が行うこと。 ・工事の実施に際し、施設に損傷のないように注意すること。万一損傷した場合は、原形に復旧すること。
2	鉄道の町「直江津」発信事業	直江津鉄道振興会		247	246	246	「直江津駅が新潟県鉄道発祥の地」であることを直江津区住民及び鉄道を利用される観光客等に認知してもらうと共に、住民の愛郷心を育てるため、直江津の魅力溢れるポスターを作成する。	観光振興課	課題なし	
3	小川未明の作品から直江津の魅力を発見し発信する事業	上越音楽文化振興会		252	251	—	小川未明の最も有名な童話「赤いろうそくと人魚」の海と浜辺の風景は、直江津の海をイメージしたとも言われており、朗読会を通じて地域全体で作品の認識を高め、朗読CDを作成し市内外に発信することで直江津に観光客を呼び込み、町の活性化を図る。	文化振興課 観光振興課	課題なし 課題なし	
4	直江津の玄関口を明るくし安心安全とイメージ向上に寄与する事業	直江津駅前商店街振興組合		4,860	4,177	—	直江津駅前の既設街路灯を入替整備することで、街を明るくし子ども達を始め地域住民の帰宅時の安心安全に寄与すると共に、来街者へのイメージアップと、街中利用の推進に繋げる。また、街路灯支柱に直江津のPR用ペナントを掲示することで、直江津区全体を盛り上げ活性化に繋げる。	市民安全課 産業振興課	課題なし 課題なし	
5	福島城の顕彰事業(追加事業)	福島城を愛する会		548	547	547	福島城の歴史意義を説明するリーフレットを作成し、直江津区住民の各家庭への配布及び公共施設に配置、またリーフレットを活用した説明会を開催することにより、市内外に福島城の認知と関心を高め、より深く理解してもらい後世に伝えていくことに繋げる。	学校教育課 文化行政課 観光振興課	課題なし 課題なし 課題なし	【学校教育課】 ・事業の実施に当たっては、学校と事前協議のうえ十分に連携するとともに、児童生徒の安全に配慮すること。
6	直江津の古き良き歴史を、デザインを通して未来に継承する事業	直江津未来のヴィンテージ		1,609	1,608	—	歴史と文化あふれる直江津区の観光資源を活かすため、美しい自然と調和した親鸞聖人にまつわる観光スポットの写真作品及び直江津区の住民のなりわいのイラスト作品、さらには「私の好きな直江津」としての絵画を区内住民から募集し展示することで地域に対する誇りを醸成すると共に、全国への情報発信により新しい観光客の増加を図る。	観光振興課	課題なし	

No.	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		採択額	事業内容の概要	担当課所見		
				事業費	補助希望額			担当課	所見	特記事項
7	(仮称)直江津水族館ロードアート修景整備事業	ライオン像の建物をまちづくりに活かす会		295	295	—	日本海や水族博物館と直江津駅、中心市街地をつなぐ楽しい散歩コースを住民参加で作ることで、住民の景観に対する意識及び市街地への回遊性の向上が図られ、観光客の導入と交流人口の拡大を期待する。	新水族博物館整備課 産業振興課 観光振興課 道路課 都市整備課	課題あり 課題あり 課題なし 課題なし 課題なし	<p>【新水族博物館整備課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 陶板レリーフの活用について、市は平成27年1月に試し剥がしを行っている。剥ぎ取りは、陶板の制作時にご協力いただいた高井 進先生の指導の下、専属の職人により慎重に行った。その結果、原形をとどめないほどに細かく分割されてしまった。この陶板レリーフは、水族博物館の外壁という高所に設置することから、剥がれ落ちて人に危害を与えないよう、慎重を期して設置した。高井先生からご指導をいただき、ビスと接着剤を併用し、施工は高井先生の専属の職人により行われた。試し剥がしの結果を受けて高井先生は、本陶板を再利用可能な状態で外壁から剥ぎ取ることは、現実的には不可能と結論付けている。 <p>【産業振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、当課所管の新水族博物館を核とした活性化検討会において、提案内容に類似する事業検討を行っている。 ライオン像の会が加入している直江津まちづくり協議会が当該検討会の構成員になっており、まずは同協議会内で、検討会内での本提案の取り扱いについて、協議していただきたい。 <p>【道路課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道敷きに物件(アート作品等)を設置しようとする場合は、道路占用許可申請書を提出し、設置前に許可を受ける必要があります。また、占用の許可条件として、町内会及び隣接者の同意も必要となります。 占用物件の維持管理は、設置者で適切に実施してください。 <p>【都市整備課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 景観の行為の届出対象外ではありますが、景観の観点も踏まえて実施するようお願いいたします。 また、市では、景観アドバイザー制度も設けておりますので、活用についてご検討ください。
8	《直江津から元気発信》事業(その2)	直江津港周辺活性化協議会		709	708	—	直江津港の釣り場解放の機運を高め、港の賑わいを創出するため、まずは釣り客に対し安全な場所での釣りやゴミの持ち帰りを啓発するためのゴミ袋を作成し配布する。また、直江津PR看板設置場所の周りに花を植栽し環境整備を行うことで来訪客のおもてなしを行う。	産業立地課 道路課	課題なし 課題なし	<p>【産業立地課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前協議について 期待する効果の範囲が多岐にわたることから、取組の効果を高めるためには、目的に合わせた市関係課などとの協議や連携を図ることが必要と考えられます。 <p>【道路課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道敷き及び法定外道路上に看板を設置しようとする場合、道路占用許可申請書を提出し、設置前に許可を受ける必要があります。また、占用の許可条件として、町内会及び隣接者の同意も必要となります。 看板を設置する場合、道路構造物に括り付けるのではなく自立させること。また、除雪期間中も看板を撤去しない場合は除雪作業に支障のない場所での設置が条件となります。
9	子どもたちのための直江津物語事業	まちおこし直江津		900	899	899	平成24年及び25年に発刊した『子どもたちのための直江津物語』の「かたち編」及び「人物編」が、教育関係者から高評であることから増刷を行い、一層地域学習の一助とし、次世代への直江津文化の継承に繋げていく。	文化行政課 学校教育課	課題なし 課題なし	<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の実施に当たっては、学校と事前協議のうえ十分に連携するとともに、児童生徒の安全に配慮すること。
10	『安寿と厨子王』発信事業	三八朝市周辺まちづくり協議会		948	947	947	直江津物語「安寿と厨子王」のレリーフや紙芝居を作成し、基調講演や小学校での地域学習を通じて、地域住民が地域の魅力を理解し誇りに感じることができ、それを地域内外に発信することで、街中への来訪者を誘客を図る。	産業振興課 文化振興課 道路課 文化行政課	課題なし 課題なし 課題なし 課題なし	<p>【道路課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直江津橋は新潟県の管理であるため、レリーフの拓本を取る場合、事前に新潟県(上越地域振興局)と協議願います。
配分額(単位:千円)	4,177	差引	-6,361	11,229	10,538	3,499	採択後の残額 678千円			

平成27年度地域活動支援事業(追加募集) 採点総括表

提案 No.	事業の名称	補 助 希望額 (千円)	採点者数	採択方針との 適合性	29点以下 の数	30点以上 の数	過半数が 30点以上 の事業	採択額 (千円)	備考	
				○						
1	八幡宮公園の憩いの場・癒しの場づくり事業	860	17	17	3	14	○	860		
2	鉄道の町「直江津」発信事業	246	16	16	5	11	○	246	関係者のため採点自粛(1)	
3	小川未明の作品から直江津の魅力を発見し発信する事業	251	17	17	13	4	×	-		
4	直江津の玄関口を明るくし安心安全とイメージ向上に寄与する事業	4,177	17	15	11	6	×	-		
5	福島城の顕彰事業(追加事業)	547	17	17	3	14	○	547		
6	直江津の古き良き歴史を、デザインを通して未来に継承する事業	1,608	17	16	17	0	×	-		
7	(仮称)直江津水族館ロード アート修景整備事業	295	17	17	9	8	×	-		
8	《直江津から元気発信》事業(その2)	708	17	17	10	7	×	-		
9	子どもたちのための直江津物語事業	899	17	17	3	14	○	899		
10	『安寿と厨子王』発信事業	947	16	16	4	12	○	947	関係者のため採点自粛(1)	
※直江津区追加募集額 4,177千円 提案額計		10,538	残額		-6,361 千円		採択額計		3,499	採択後の残額 678千円

平成27年度地域活動支援事業(追加募集) その他特記事項等一覧

提案No.	事業の名称	過半数が 30点以上の 事業	「その他特記事項」記載内容
1	八幡宮公園の憩いの場・癒しの場づくり事業	○	○事業に投資する金額の問題と水源確保が疑問である。 今一度内容を精査し、50万円くらいで実施してはどうか。
2	鉄道の町「直江津」発信事業	○	○来年度以降にも交通の要所、直江津駅の歴史を残す取組に尽力していただきたい。
3	小川未明の作品から直江津の魅力を発見し発進する事業		
4	直江津の玄関口を明るくし安心安全とイメージ向上に寄与する事業		○他の補助金制度等十分に検討、利用した上で、他の町内会と防犯灯による軋轢を回避すること。 ○31基全点灯した場合、年間電気料だけでも数十万円にのぼるので、少なくとも10年先以上の財政計画を提示し、維持管理の確約をすること。 ○補助額については「上越市防犯灯LED化補助金交付要綱」に準ずることとする。 ○今年度は厳選して数灯の整備とし、来年度も要望してください。 ×今一度、町内会、市等協議の上、申請を望む ×各種の補助金制度を再度検討していただきたい。
5	福島城の顕彰事業(追加事業)	○	○福島城址に関わる現存するもので、港八幡宮のほか、春日新田3にある春日神社があり、祭礼が大変賑やかに行われている。この神社も記載してほしい。
6	直江津の古き良き歴史を、デザインを通して未来に継承する事業		×市観光課・コンベンション協会等と連携しての企画だと考える。 ×新年度に余裕をもった計画で再応募していただきたい。
7	(仮称)直江津水族館ロードアート 修景整備事業		
8	《直江津港から元気発信》事業(その2)		○ゴミ袋、無料配布を中止
9	子どものための直江津物語事業	○	
10	『安寿と厨子王』発信事業	○	

中央保育園・古城保育園の統合について

1. 保育園の現状

【中央保育園】

- 沿岸部の高台の住宅地内に位置し、背後を崖地とする袋小路の狭い敷地に立地しており、建物の老朽化も進み崖地の安全性や災害時の避難も懸念されている。
- 園庭も狭く日常の屋外保育が十分に行える環境にない上、駐車場も無く付近の道路も狭いことから、送迎が集中する時間帯は施設周辺が非常に混雑し、交通の支障となっている。

【古城保育園】

- 建物の老朽化も進んでいるほか、敷地が狭く駐車場が確保できないことから、送迎時は路上駐車をせざるを得ない状態となっている。
- 津波浸水想定区域内に立地しており、災害発生時における園児の安全確保が求められている。

【施設の状況】

平成 27 年 7 月 1 日現在

保育園名	建築年月	経過年数	構造	定員	児童数
中央保育園	昭和 53 年 12 月	35 年	鉄筋コンクリート造 2 階建	130	98
古城保育園	昭和 56 年 1 月	34 年	木造平屋建	90	89

2. 保育園の統合の考え方

- 同じ中学校区内にある両保育園を統合し、直江津区の基幹的な保育園として整備する。
- 建設地は、旧社会教育館の跡地と海浜公園の一部を活用し、移転整備する。
(敷地面積：約 3,400 m²)
- 定員は 200 人程度とする。

3. 整備スケジュール

- 平成 27 年～ 設計業務等の着手
旧社会教育館の除却
- 平成 29 年～ 建物建築工事の着手（平成 30 年度までの 2 カ年）
- 平成 31 年 3 月 中央・古城保育園閉園
- 平成 31 年 4 月 新保育園開園